

長野県上田地域における基本計画の概要

計画のポイント

上田地域は、優れた交通インフラを有し、特徴ある観光資源や多様な特産物に恵まれるとともに、高度なものづくり基盤技術を有する企業が集積している。また、大学や産業支援機関の集積を活用した次世代産業の創出、高原によるスポーツツーリズム、ワイン用ぶどう畑とワイナリーによる観光振興、農業の6次産業化等の新たな取組も生まれている。当計画では、これらの地域の特性を活用して、地域経済牽引事業を支援していく。

促進区域

長野県上田地域（上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町）

経済的効果の目標

促進区域で3,400百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑦のいずれか）】

- ①金型、切削、プレス、プラスチック成形、電子部品実装等の高度なものづくり基盤技術を活用した成長ものづくり分野
- ②上信越自動車道などの交通インフラを活用した先進的のものづくり分野
- ③生産用機械や電気機械、情報通信機械産業の集積を活用したヘルスケア分野
- ④上田城跡、湯の丸高原、別所温泉などの観光資源を活用した観光・スポーツ・文化・まちづくり分野
- ⑤ワイン用ぶどう畑、ワイナリーなどの観光資源を活用した観光・まちづくり分野
- ⑥レタスやぶどう、牛肉などの特産物を活用した農林水産・地域商社分野
- ⑦豊富な日照や河川、森林資源などの自然環境を活用した環境・エネルギー分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：3,685万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：6%増加
- 雇用者給与等支給額：10%増加
- 売上げ：6%増加

制度・事業環境の整備

- ・固定資産税等の減免措置の創設、地方創生推進交付金等を活用した人材育成や施設投資、販路開拓等の支援機能の強化
- ・産業用地情報の逐次開示、公設試験場が有する研究成果、知的財産権等の情報提供
- ・事業者からの事業環境整備の提案の対応、(一財)浅間リサーチエクステンションセンター(ARE C)等の強化等

地域経済牽引支援機関

信州大学等学術機関、ファイバーイノベーション・インキュベーター施設(F i i)、長野県工業技術総合センター、(公財)長野県テクノ財団浅間テクノポリス地域センター、(公財)長野県中小企業振興センター、(一財)浅間リサーチエクステンションセンター(ARE C)、(公財)さかきテクノセンター、商工会議所・商工会 等

《促進区域図》



《地域の事例：左：信州大学繊維学部内の研究及び産学官連携拠点、右：ワイン用ぶどう畑》



計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで